



親鸞と
人の「悪人
正機」とい
うことを応

これは実は、
た。

悪いのは相手。そう言つて喧嘩やつ
ておつた。ところが今は、悪い子が
二人になつたら喧嘩をやめて、先生
の所へそろつてやつてきた。いい子
が二人そろうと喧嘩する。悪い子が

二人そろうと喧嘩をやめて仲良く頭
を下げてやつて来る。こんな不思議
なことあるか、おい」と、子供たち
に言つたら、子供たちも「本当にそ
うですね」と、うなずいてくれた。

悪いのは相手だけが悪いんじやなくて、自分の方にも悪い点があるということに気づかされ
たんだな。

それはそれでよかつたけれども、お前たちいっぺんよく考えてみる。一時間前お前たちは、自分はいい子、悪いのは相手。そう言つて喧嘩やつ
ておつた。ところが今は、悪い子が

これが、「共にこ
れ凡夫のみ」とい
う考え方人に間が
立つたら、喧嘩を
やめて二人が仲良
く頭を下げて謝り
合う。そういう世
界が開かれてくる
ということの証明
だらうと思ひます。

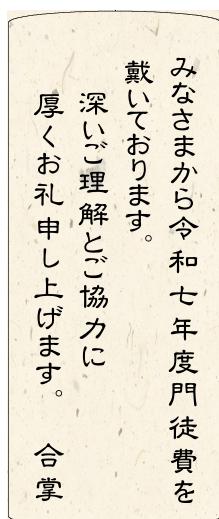


これが「南無阿弥陀佛」の世界、「帰
命無量寿如來」の世界だということ
を、あらためて教えられたわけです。
正義は我にありとすることで、相
手ばかりを責め立てるような生き方。
今の世の中のどこを見てもみんなそ
うでしよう。正義は我にありで、他
人ばかりを責めていく。自分はい
い子になつて他者批判をする。これ
じゃ世の中は持ちません。世の中は
仲良きいません。：

方です。賢善の立場に立ちますと、
悪いのはお前、相手が悪い。愚かな
お前、間違つておるのは向こう。
こういうふうにひとばっかりを批判
する。他者批判して、そして自分が
抜きになつてゐる。これが現代の私
たちのやつてゐる姿じやないです。

これが「南無阿弥陀佛」の世界、「帰
命無量寿如來」の世界だということ
を、あらためて教えられたわけです。

よい子ふたりだと喧嘩する。悪い
子ふたりだと喧嘩をやめて二人仲良
く頭を下げ合う。これが人間のあり



【 平成16年門徒研修会
亀井鑑師講話より 抜粋】